

平成 25 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、以下の活動内容にて活動する。

特に今年度は 4 月 1 日設立した学会下部組織「保安力向上センター」の保安力評価システムの具体的自主評価及び向上センター評価の実施運用を進める。又、システムの他分野への適用検討を進めると共に、保安力向上に関わる技術者の養成にも注力する。

平成 26 年度 6 月予定の国際大会 WCOGI 2014 の開催に向けて準備に注力する。

維持・賛助会員の安全に資する活動を強化する。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

① 安全工学研究発表会

安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：平成 25 年 11 月 28 日（木）、29 日（金）

開催場所：高松サンポートホール（香川県）

参加予定者：250 名（延べ）

② WCOGI 2014 開催に向けた準備の推進

開催予定：平成 26 年 6 月 8 日（日）～10 日（火）

開催場所：岡山コンベンションホール

③ 研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会 2 回

安全工学研究発表実行委員会 2 回

WCOGI 関連委員会 数回

（実行委員会、IPC 委員会、NOC 委員会）

医療安全研究会 4 回

廃棄物安全研究会 3 回

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌発行 “安全工学”

発行回数 年 6 回

(2) 講習会・セミナー

① 第 35 回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成 25 年 9 月 11 日(水), 12 日(木)

危険現象講座 平成 25 年 10 月 22 日(火), 23 日(水)

プラント安全講座 平成 25 年 11 月 14 日(木), 15 日(金)

安全マネジメント講座 平成 26 年 1 月 16 日(木), 17 日(金)

実施予定場所 砂防会館会議室又は化学会館会議室

参加募集人員 各回 30 人

② 安全工学地域セミナー

開催月日 平成 26 年 1-3 月予定

実施予定場所 西日本地区(詳細未定)

参加募集人員 30 人

③ 安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成 25 年 5 月 15 日(水)、16 日(木)

実施予定場所 化学会館

参加人員 30 人募集

④ 安全工学実験講座

開催月日 1 回 平成 25 年 5 月 27 日(月)、28 日(火)

実施予定場所 日本カーリット(株)

参加募集人員 20 人

⑤ 災害事例研究会

開催月日 2 回、半日/回、平成 25 年 7 月 24 日(水)
平成 25 年 12 月開催

実施予定場所 化学会館

参加予定人員 各回 35 人

⑧ 普及啓発事業管理

対象委員会・研究会等

編集委員会 12 回

普及委員会 4 回

(3) 経営者安全懇談会 3~4 回

昨年に継続し、工場長による安全検討会を各地区で予定する。

(4) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター

我が国の現場力を高め、産業の安全性を向上させるためには、現場の技術基盤並びに安全文化の醸成が不可欠である。

そのため、保安力評価システムの改訂、保安力向上に係る技術者の養成並びに情報の収集・提供、普及啓発を行うことにより、事業者の保安力向上を図り、もって国民安全及び地域社会の健全な発展に貢献する。

(1) 保安力評価システムの運用・改訂

会員企業が実施する事前評価に対する支援並びに会員企業に対するセンター評価を実施・運用するとともに、データ解析、システム改善を行う。保安力評価を希望する企業に対しセンター評価等を実施する。また、企業ニーズの高い加工・組立分野等への適用について検討開始し試行する。

(2) 保安力向上に係る技術者の養成

各種研修、自己評価、センター評価を通じ、保安力推進委員の力量向上を図る。一般向けの研修に供する教材作成を行い、研修を開始する。

(3) 保安力に関する情報の収集、提供並びに普及啓発

フランス産業安全文化研究所との協力関係強化を図る。安全情報の収集、提供並びにマスメディア、HP等を通じた保安力の普及啓発に努める。

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

現在受託テーマは無いが、積極的に受託テーマの取り込みを検討する。受託事業管理委員会にて管理する。

2.3 安全工学に関する調査研究及び情報収集提供事業

維持会員、賛助会員の安全に資する活動に注力する。
ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

- ・学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰
- 対象 安全工学論文賞（1-2件）、北川学術賞（1-2名）、玉置功労賞（1-2名）、奨励賞（1-2名）

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。国際的には APASES（Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合）に参加。

① 諸会費

（社）日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

② 安全工学シンポジウム 2013（第43回）

開催月日：平成 25 年 7 月 4 日（木）、5 日（金）

開催場所：日本学術会議

主催：日本学術会議

幹事学会：電気学会

共催：安全工学会ほか 34 学協会

③ APSS 2013 (Asia Pacific Symposium on Safety, アジア
太平洋安全シンポジウム)

開催月日：平成 25 年 10 月 17（木）、18 日（金）

開催場所：シンガポール

2. 6 管理業務

① 総会 1 回開催

開催月日：平成 25 年 5 月 22 日（水）

開催場所：日本化学会館

② 理事会 4 回開催

開催月日：平成 25 年 5 月 8 日（水）

平成 25 年 7 月

平成 25 年 11 月

平成 26 年 3 月

③ 評議員会 1 回開催

開催月日：平成 25 年 5 月 22 日（水）

④ 監事会 1 回開催

開催月日：平成 25 年 5 月 2 日（木）

⑤ 委員会

総務委員会 2 回開催

企画委員会 4 回開催

⑥ 見学会 2 回開催

開催日：平成 25 年 9 月予定、平成 26 年 3 月予定

見学先：未定

参加予定人員：安全工学会の会員 各回 30 名

以上